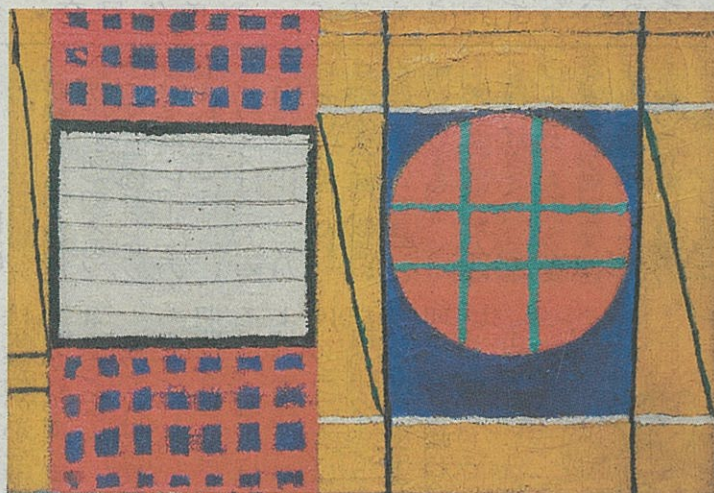


文化・芸術

《名画の扉》

「生誕110年 みんなのオノサト・トシノブ展」から



「作品」

1955年ころ 油彩・カンバス
15・8センチ×22・7センチ

個人蔵

オノサト・トシノブ（1912～86年）

1948（昭和23）年 このユニークな表現に11月、オノサト・トシノブはシベリアでの3年間にわたる抑留から帰国、桐生に戻ることができました。

戦中、戦後の空白をうめるように創作を再開。やがて日本の戦後美術、さらに60年代の現代美術を語るときには、画面に大きな円形が平たん描かれたオノサトの抽象絵画が、

「ベタ丸」と名付けた。今回紹介する作品は、小品ながら「ベタ丸」誕生の瞬間に立ち会っているように感じ

られ、今も輝いています。

（田中）